



くまもと県北病院

KUMAMOTO KENHOKU HOSPITAL

広報誌Vol.4

くまもと県北病院





## くまもと県北病院の理念

私たちは地域の皆様に安心と信頼を提供する県北の中核病院を目指します



## 基本方針

# 私たちの約束

1. 患者中心の安全で質の高い医療を提供します
2. 大学と連携して高度医療を推進します
3. 地域の医療機関と連携して地域医療や福祉に貢献します
4. 急性期医療と地域医療の両方を実践する教育病院を目指します
5. 救急・災害拠点病院としての機能を推進します
6. 健診機能の充実をはかり、皆様の健康増進をはかります



## 令和5年 新春に当たりにまして



理事長 山下 康行

新年明けましておめでとうございます。

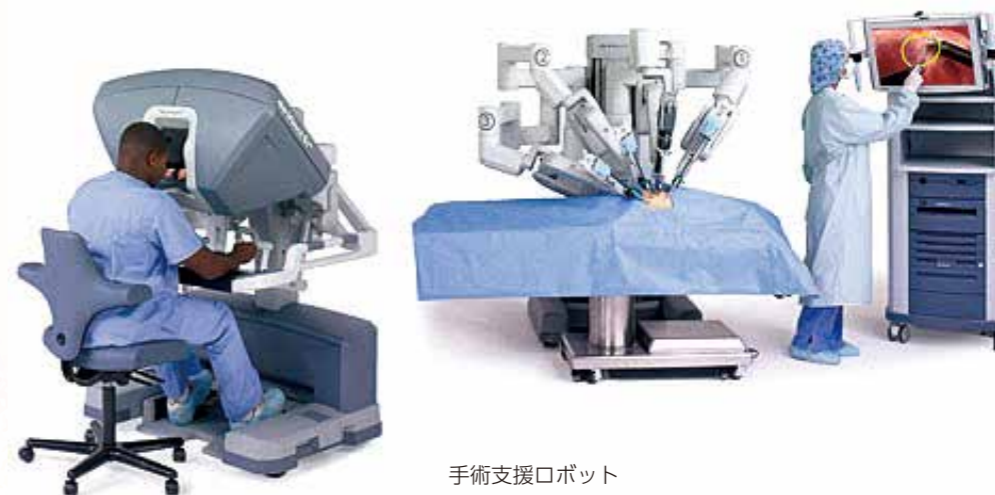
コロナ禍のもとくまもと県北病院は令和3年3月1日に開院して1年10ヶ月経過し、病院の体制も段々落ち着きつつありますが、未だにコロナ体制下という状況が続いております。当院ではコロナ診療に56床の病床を救急病棟、4B病棟に跨がって確保しております。現在ではもっぱら4B病棟をコロナ病棟として使用し、診療に当たっておりますが、今後の8波に対しても万全の体制で臨む予定であります。

令和3年は4月より医師数も16名増加し、常勤医が78名となりました。新たに呼吸器内科、消化器内科が増員となり、消化器外科、眼科ではそれぞれ新任の部長、医長が赴任しております。また泌尿器科におきましても令和4年4月からは新たに部長以下、3人の医師が赴任し、4人体制でスタートしております。研修医も新たに9名迎え、拠点研修機関として人気があること

が窺えました。さらにHCU病棟も大幅にパワーアップさせ、高度急性期医療にも力を入れてまいりました。更に10月より耳鼻咽喉科を新設し、常勤医を一人迎えております。

新年の1月にくまもと県北病院として日本医療機能評価機構の病院機能評価の審査を受審する予定であります。それに当たりにまして現在、病院の様々な体制を整備しつつあります。また3月までに最新鋭の手術支援ロボットを手術場に導入予定であり、県北で唯一のロボット手術が可能な施設となります。前立腺癌や腎癌などの泌尿器科系の手術を始め、消化器や呼吸器領域にも今後展開していく予定です。

令和5年はくまもと県北病院がどのような病院にこれから育っていくか、その基礎づくりにおいて引き続き非常に重要な1年になります。皆様のご支援とご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。



手術支援ロボット

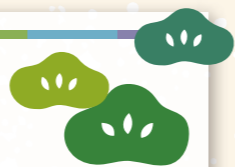
## 年頭のごあいさつ

病院長 田宮 貞宏



皆様、明けましておめでとうございます。  
くまもと県北病院の広報誌に目を通していただきありがとうございます。  
本院が開院して間もなく2年となります。新たな気持ちで、引き続き地域の医療機関にご協力いただきながら、住民の皆様の生活を守っていきたく思っております。  
開院以降、通常の診療を維持しつつ、いわゆるコロナ禍における様々なニーズに応えるべく、職員は日々の業務に真摯に取り組んでおります。上司として頼もしく思うと共に、過大な負荷をかけてしまっていることを反省しています。このような逆境の中でも職員はさぼらず、諦めず、病院が次のステージに進めるように創意工夫をしています。その一端をこの広報誌で知っていただき、さ

らなる応援、ご協力をいただけますとありがたいです。  
今年の干支は、「癸卯（みづのとう）」です。「癸卯」には、「寒気が緩み、萌芽を促す年」といった意味があるようです。コロナ禍以降、淀みがちな人々の心や停滞し続けていた世の中の活動に、ようやく希望が芽生える春が訪れることを期待せずにはおれません。  
さらに「癸卯」には今まで培ってきた自身の力が試される年であることも示唆しています。コロナ禍の中、生活の制限に耐えてこられた住民の皆様、パンデミックに対峙し、住民の皆様の生活を支えてこられた行政、医療福祉関係の皆様には深く敬意を表します。そしてこれまで培ってきた地域の協力・連携体制という力は「癸卯」の年に試されるだけではなく、世代を超え受け継がれ、どのような試練があっても愛する地域を守る原動力になると確信しております。  
皆様のご健勝とご多幸を祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。



## 年頭のごあいさつ

事務部長 松倉 秀一



初春のお慶びを申し上げます。  
3年前の2月下旬頃から新型コロナウイルスの影響により、生活や社会活動がこれまでの日常と全く違うあり様になってしまいました。  
くまもと県北病院においても様々な感染対策が行われていますが、特に入院患者さんへの面会制限においては、長らく患者様またそのご家族に多大なご迷惑をおかけし大変心苦しく感じております。  
今年こそ、新型コロナウイルス感染症の勢いも少しずつ和らぎ、いい方向に向かうよう願っています。  
さて、病院も新型コロナ感染拡大と同時期に開院し今年で3年目となります。新たな年を迎え、これまで以上に体制を強化し地域のための病院を目指したいと思っています。  
年頭に当たり、私のモットーを申し上げます。



1 理念なき経営は最低であり、利益なき経営は最悪である。  
2 経営とは、今使える経営資源「人・物・金・情報」を最大限に活用して、その時に出来る最大の結果を出す事である。  
受け売りですが、この2つは、経営者として当たり前の事です。しかし、全職員が意識しなければ経営に反映させることができないことだと思います。  
職員の意見を吸い上げ改善の道を探る、これは一人や一部署だけで解決することは難しく、全職員が一丸となり、より良い職場環境作りに取り組むことが、より良い地域医療貢献にも繋がるものと信じています。  
今年も、日々繁忙な一年になると思いますが、亀に追い越されることなく実り多き飛躍の兎年になるよう祈念します。  
最後になりますが、くまもと県北病院が開院して今日まで、多くの皆様から寄せられた励ましの言葉やご意見に感謝するとともに、今年も変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 看護部はあたたかい心と 確かな技術を地域の 皆様にお届けします

看護部長 津田 恵美

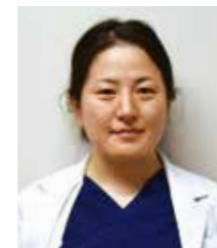


あけましておめでとうございます。  
令和3年3月、くまもと県北病院が開院して間もなく2年が経過しようとしています。これまで地域の開業医の先生方をはじめ、各病院、施設、訪問看護ステーション、行政等々の皆様には本当にお世話になっております。本院の病院理念は「地域の皆様に安心と信頼を提供する県北の中核病院を目指します」です。昨年を振り返ると、まだまだ安心と信頼を提供できていたか反省することばかりなのですが、新型コロナウイルス感染症発生が大きな波を繰り返す中でも、病院診療を中断することなく入院が必要な患者様を受け入れることが出来たのは評価に値するかと思っています。また、このことに関しては、玉名郡市医師会の先生方のご協力があったことと心より感謝申し上げます。

さて現在の看護部の様子なのですが、2病院と健診センターが一緒になり、紆余曲折ありましたが、職員の意識の統一もようやく図れるようになってきました。看護部は看護師だけではなく看護補助者、クラーク、そして昨年10月より新たに採用した介護福祉士を合わせると総勢400名を超える人員を抱えています。この最も大きな集団が気持ちを一つにして働いていかないと、地域の皆様に安心と信頼を提供する医療は出来ないと思っています。病院の理念に基づいて考えた看護部の理念は「私たちはひとを大切に、あたたかい心と確かな技術を持った看護をいたします」です。この理念に添った看護ケアが皆様にお届けできるように今後も努力していきたいと思っております。  
2023年は卯（うさぎ）年です。うさぎはその跳び姿から「飛躍」「向上」を象徴すると言われております。病院開院から3年目、看護部もうさぎのようにホップ、ステップ、ジャンプし、飛躍・向上を目指してまいります。今後とも皆様の温かいご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## 耳鼻咽喉科 高野 若菜



令和4年10月に赴任して参りました、高野若菜と申します。熊本大学病院耳鼻咽喉科頭頸部外科へ入局後、大学病院や熊本医療センター、熊本労災病院で診療に従事してきました。この度くまもと県北病院に常勤として赴任しましたので、これまでの耳鼻科診療は週1回大学病院から派遣される医師の外来のみでしたが、現在は週3回の外来診療に加え、入院および手術にも対応できるようになりました。  
耳鼻咽喉科は耳、鼻副鼻腔、口腔、咽喉頭、頸部と広い領域を診察の範囲としています。扱う疾患も、中耳炎や扁桃炎、副鼻腔炎といった炎症性疾患、難聴や味覚障害といった感覚器・神経障害、音声や嚥下などの機能障害、悪性を含めた腫瘍性病変と多岐にわたります。  
これまでも外来診療において耳鼻科開業の先生方や、その他地域の診療機関よりご紹介をいただいておりますが、どうしても対応できる疾患に制限があったり、熊本市内の病院へ入院加療をお願いするなどの状況であったと思います。今後は突発性難聴

や顔面神経麻痺、急性喉頭蓋炎、扁桃周囲膿瘍など入院加療や緊急手術が必要な病態の患者様についてはこれまで以上に速やかな対応が可能となり、また外来日数も増えましたのでご紹介も受けしやすくなりました。  
本院では対応が困難な重症疾患や、悪性腫瘍など集学的な治療を必要とする病態については、当院で必要な検査を行ってから大学病院等へ紹介することができ、治療までスムーズに繋げるかと思っております。  
私を含め耳鼻咽喉科スタッフが慣れていない部分もありますが、検査機器や診療機器などのハード面の充実を図りつつ、地域の皆様の健康を支え、病気を抱えて不安な患者様に寄り添えるよう努めて参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。



2023年4月より  
ペインクリニック外来を  
開設致します！

麻酔科  
上原 友輝



くまもと県北病院 麻酔科 上原友輝と申します。  
当院手術室では4人の麻酔科医が活躍しております。  
我々が働く手術室に来られる患者さんはほとんどの場合、手術を必要とする点で、病院に来られる患者さん方の中でも最も病める患者さんです。

そして、手術室に来られる患者さんはほとんどの場合、我々医師が患者に強いる最も大きな身体的精神的負担、つまりは侵襲を受けられます。メスで皮膚を切り、悪い所を治して縫い閉じるという侵襲、つまり手術です。

最も病める患者さんに最も大きな侵襲を与えるからには、最も厳重な「防御」をしなくてはなりません。この「防御」は、いわゆる麻酔です。麻酔をかけることは「寝かせる」ことではありません。手術という大きな侵襲から患者さんを守ることです。そのためには様々な技術が必要となります。最も重要視されるのは「痛みをなくす」技術です。「寝かせる」技術ではありません。

古くは江戸時代から、有吉佐和子氏の小説でも有名な華岡青洲先生の時代から、我々麻酔科医師は技術の研鑽に努めてきました。

た。最近になってこの技術の一部を腰痛や肩痛等の慢性疼痛、がんなどの悪性疾患の痛みに対して応用する分野が広く周知されてきています。「ペインクリニック」という科です。比較的新しい科なので横文字です。「疼痛制御科」とでもいうべきでしょうか。対象とする疾患の括りは特になく、「痛み」という症状を相手に診療を行い、治療にあたります。

多くの場合慢性疼痛は痛みとそれに対する行動、生活様式の悪循環から起こっています。今日の痛みが明日の痛みをひどくして、ひどくなった明日の痛みが明後日の痛みを更にひどくさせるのです。ペインクリニックは手術の痛みを止める技術を用いて繰り返す痛みをいったん止め、痛みの悪循環を断ち切ります。

痛みと「付き合い」はしても、痛みと「共に人生を歩む」必要はありません。

困っておられる方はぜひご相談ください。



くまもと県北病院の手術室共同利用

くまもと県北病院には、地域の歯科の先生方に手術室をご利用頂ける仕組みがあります。

先生方に当院手術室にて必要な処置をして頂き、入院が必要な場合は、当院歯科口腔外科が主治医になり入院中の経過を診させていただきます。

こんな時にご利用ください。

例:全身麻酔での歯科治療が必要な患者さんなど



歯科口腔外科外来写真

ご利用頂くための手続き

ご利用頂くには、地域連携登録医になって頂きます。登録は無料です。

連携登録医届け出書をご提出頂きます。また、報酬お支払い等の関係で必要書類の提出をお願いしております。

患者さんのご紹介方法

ホームページにあります歯科口腔外科専用 診療FAX依頼書と診療情報提供書を地域連携室にFAXしてください。歯科口腔外科医師と相談の上、外来受診の日程を調整し、患者さんにご紹介元の先生に受診して頂く日程をご連絡致します。

歯科の先生方への報酬について

手術手技及び歯科処置に関する診療報酬の一部の額を報酬としてお支払いします。

入院中は共同で診療致します

ご紹介患者さんの入院中、患者さんの診察、指導等を当院医師と共同で行って頂いた場合、開放型共同指導料Ⅰの算定が可能です。

令和3年3月の開院後、毎月1～2名の患者さんのご紹介を頂いております。

地域の先生方のお役に立てるよう、ご協力したいと考えておりますので、お気軽にご利用ください。

【問い合わせ窓口】くまもと県北病院 地域連携課 永田 歯科口腔外科 福岡

がん相談支援センターのご案内・がんサロンのご紹介

「わぁー病院にこんなところがあったのねー」がん相談支援センターへ患者さんをご案内したときのお言葉です。がんと診断され、治療のこと、仕事のこと、家庭のこと様々な問題を抱えられる患者さん。診断と共に治療の選択に迫られ、あらゆる情報が飛び交い何を信じて良いのかわからない状況の方が多い中、治療のための準備が目まぐるしく始まります。そのような患者さん、ご家族へ情報という明かりを灯す場所ががん相談支援センターです。信頼関係は構築できていても、主治医に言えないこともあります。がん相談支援センターは中立的な立場で支援する場所です。

医療など全くわからない方の一助となるべく、がん相談支援センターのお部屋も広くなり情報冊子の提供や閲覧ができる

場所となっています。ご利用は地域の方もご利用ができます。是非主治医やその他医療福祉関係者の方より一言がん相談支援センターをご紹介しますと嬉しく思います。

また、がんのどの段階にも関係なく、同じ疾患を持つ方々とお話ができる「たまきながんサロン こもれび」を奇数月で開催しています。参加者の方からは、「気分転換ができた。みんな同じ気持ちだったんですね」などのお言葉があり、それぞれの感情に気づき前向きに病気治療と向き合える場の提供を行っています。皆様からのがんサロンの情報提供は患者さんの向き合う力になるかもしれません。

当院がん相談員一同、地域医療へ貢献できますよう努力していく所存です。今後どうぞお力添えを賜りたく存じます。



1階 総合受付横7番

緩和ケア認定看護師、社会福祉士がご相談をお受けします。



ご自由に入って頂き、資料を見て頂けるようになっています。



治療に関する各種資料等を準備しています。



お気軽にお立ち寄りください。

玉名市認知症初期集中支援チームのご案内

「認知症かも?」と思ったら…

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置しています。チームがご家庭を訪問し困りごとを一緒に解決します。

「認知症初期集中支援チーム」がご家庭を訪問し、支援を行います。

複数の専門家が家族の訴えなどにより認知症が疑われる人、認知症の人の家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行うチームです。

■チームのメンバー

認知症専門医、医療と介護の専門職(看護師、作業療法士、社会福祉士など)

■支援の対象者

- 認知症疾患の診断を受けたいけど、うまく受診につながらない
- 認知症による症状が強く、対応に困っている
- 医療や介護のサービスを受けたいけど、どうしたらよいか分からないなど

■支援内容

- ご本人やご家族の困りごとを一緒に確認します。
- ご本人やご家族の心理的なサポートを行います。
- おおむね6ヶ月を目安に医療や介護チームにつなげていくために集中的に支援を行います。

■配置場所 くまもと県北病院

【最初の相談窓口は】玉名市包括支援センターになります。 TEL:71-0285

診療科		月	火	水	木	金
総合診療科		クサノ シンイチ 草野 真一 ナカムラ タカノリ 中村 孝典 (非常勤) クサノ シンイチ 草野 真一 タミヤ サダヒロ 下地 徹 オヤマ コウタ 小山 耕太	ナカムラ タカノリ 中村 孝典 (非常勤) クサノ シンイチ 草野 真一 オヤマ コウタ 小山 耕太	シモジ テツ 下地 徹 クサノ シンイチ 草野 真一 タミヤ サダヒロ 田宮 貞宏	マツイ タニヒコ (非常勤) 松井 邦彦 (非常勤) シモジ テツ 下地 徹 オヤマ コウタ 小山 耕太	ナカムラ タカノリ (非常勤) 中村 孝典 (非常勤) オヤマ コウタ 小山 耕太
	午後	オヤマ コウタ 小山 耕太 サトウ アキヒロ 佐藤 彰洋	オヤマ コウタ 小山 耕太 ツモリ カオリ 津守 香里	タミヤ サダヒロ 田宮 貞宏	オヤマ コウタ 小山 耕太	サトウ アキヒロ 佐藤 彰洋
呼吸器内科		ウシジマ マサト 牛島 正人 サトウ ミチコ 佐藤 美菜子 イケダ トモヒロ 池田 智弘	ツモリ カオリ 津守 香里 ウシジマ マサト 牛島 正人 廣岡 さゆり 廣岡 さゆり フクシマ カズアキ 福嶋 一晃	シモジ テツ 下地 徹 クサノ シンイチ 草野 真一 タミヤ サダヒロ 田宮 貞宏	マツイ タニヒコ (非常勤) 松井 邦彦 (非常勤) ツモリ カオリ 津守 香里 サトウ ミチコ 佐藤 美菜子 イケダ トモヒロ 池田 智弘	サトウ アキヒロ 佐藤 彰洋 ツモリ カオリ 津守 香里 ミジノ タカノリ 溝部 孝則 フクシマ カズアキ 福嶋 一晃
呼吸器外科			オオバ ヤスオミ 大場 康臣			オオバ ヤスオミ 大場 康臣
腫瘍内科		ウシジマ スナオ 牛島 淳			ウシジマ スナオ 牛島 淳	
血液内科		ムラタ カツミ 村田 克美 ヤマグチ ヤスヒロ 山口 安広	イマカネ ダイスケ 今金 大輔	トクナガ ケンジ 徳永 賢治 (非常勤)	ニシムラ ナオ 西村 直 (非常勤)	ウエノ シキコ 上野 志真子 (非常勤)
脳神経内科		マツカワ マサカズ 松川 将三	トキツ タカノリ 時津 孝典 ナコウ ヒトコ 名幸 久仁 ヤマモト マサヒロ 山本 正啓 (非常勤)	マツカワ マサカズ 松川 将三	ナコウ ヒトコ 名幸 久仁 ヒロシ 剛 枇杷 剛 (非常勤)	ハラ ケンタロウ 原 健太郎 (非常勤) トキツ タカノリ 時津 孝典
循環器内科			トキツ タカノリ 時津 孝典 ナコウ ヒトコ 名幸 久仁 ヤマモト マサヒロ 山本 正啓 (非常勤) ペースメーカー-外来			
糖尿病・内分泌科		マツダ ヒロフミ 松田 浩史 サタケ トシヒコ 佐竹 俊彦	マツダ ヒロフミ 松田 浩史 サタケ トシヒコ 佐竹 俊彦	クロダ エイサク 黒田 英作 (非常勤) サタケ トシヒコ 佐竹 俊彦	マツダ ヒロフミ 松田 浩史 サタケ トシヒコ 佐竹 俊彦	マツダ ヒロフミ 松田 浩史 サタケ トシヒコ 佐竹 俊彦 午:ゴドウ リエコ 前:後藤 理英子 (非常勤) 午:サカキダ コウリン 後:榊田 光倫 (非常勤)
腎臓内科		コウ タケヒロ 関 健博	コウ タケヒロ 関 健博		ヒロシ タイキ 東 大樹	ヒロシ タイキ 東 大樹
消化器内科	新患	イケバタ アキコ 池端 彰子 ヤマカ シンギ 山鹿 慎也 ミヤギ トシヒコ 宮城 俊彦 ニシ トモミ 西 智美	マツシタ ヒロシ 松下 寛 オカダ タクミ 岡田 拓巳 オオムラ レイカ 大村 怜佳	フクバヤシ コウタロウ 福林 光太郎	ホンダ ヒデカズ 本田 秀和 イマキケイ エイコ 今給黎 瑛子 オオムラ レイカ 大村 怜佳	ホリオ ユキオ 師井 裕記朗 (非常勤) ホリオ ユキオ 師井 裕記朗 (非常勤)
小児科	午前: 8:30 ~ 11:00 午後: 月・水・金 14:00 ~ 16:00 火・木 15:00 ~ 16:00	ミヤギ トシヒコ 宮城 俊彦 ニシ トモミ 西 智美	オカダ タクミ 岡田 拓巳 オオムラ レイカ 大村 怜佳	ニシ トモミ 西 智美 オオムラ レイカ 大村 怜佳	オオムラ レイカ 大村 怜佳	モロイ ユキオ 師井 裕記朗 (非常勤) モロイ ユキオ 師井 裕記朗 (非常勤)
消化器外科		アカホ シンイチ 赤星 慎一		イシカワ シンジ 石川 晋之		タキ カツノブ 高城 克暢
外科			ホソタキ キヨシ 細瀧 喜代志		ホソタキ キヨシ 細瀧 喜代志	
緩和ケア外来	火・木 13:30 ~ 16:00		ホソタキ キヨシ 細瀧 喜代志		ホソタキ キヨシ 細瀧 喜代志	
乳腺外科			トウ 理沙 後藤 理沙 (非常勤)			
泌尿器科	新患 再診	マツバラ ケンタ 松原 顕太 チカウラ ケイタ 近浦 慶太 ウラタ ヨシノスケ 中原 潤之輔 ウチダ ユウキ 内田 裕己 (手の専門外来) ヤスオカ ヒロミチ 安岡 寛理	ササオカ ユウジ 笹岡 祐次 ヤマグチ タカヒロ 山口 隆大 ウラタ ヨシノスケ 中原 潤之輔 マツシタ ヒデヒコ 松下 任彦 ササキ カズトシ 佐々木 一駿	チカウラ ケイタ 近浦 慶太 ササオカ ユウジ 笹岡 祐次 ウラタ ヨシノスケ 中原 潤之輔 マツシタ ヒデヒコ 松下 任彦 ウチダ ユウキ 内田 裕己	ヤマグチ タカヒロ 山口 隆大 マツバラ ケンタ 松原 顕太 ウラタ ヨシノスケ 中原 潤之輔 ササキ カズトシ 佐々木 一駿 (手の専門外来) ユノ 安岡 寛理 (午後 予約のみ) イナバ ダイスケ 稲葉 大輔 (非常勤)	手術日 (休診) ナカハラ ジョンスケ 中原 潤之輔 マツシタ ヒデヒコ 松下 任彦 (手の専門外来) ヤスオカ ヒロミチ 安岡 寛理 (午後 予約のみ)
整形外科			ササキ カズトシ 佐々木 一駿	ウチダ ユウキ 内田 裕己		タキ カツノブ 高城 克暢
脳神経外科	月一回・要予約					ムカサ アキタケ 武笠 晃丈 (非常勤)
皮膚科		マキノ タカミツ 牧野 貴充 オオシオ ユウダイ 大潮 雄大	マキノ タカミツ 牧野 貴充 オオシオ ユウダイ 大潮 雄大	アタリ ベンゴ 中 弁護 (非常勤)	マキノ タカミツ 牧野 貴充 オオシオ ユウダイ 大潮 雄大	マキノ タカミツ 牧野 貴充 オオシオ ユウダイ 大潮 雄大
眼科		フクシマ コウキ 福島 巨希	フクシマ コウキ 福島 巨希	手術日	フクシマ コウキ 福島 巨希	フクシマ コウキ 福島 巨希
耳鼻咽喉科		タカノ ワカナ 高野 若菜		タカノ ワカナ 高野 若菜		タカノ ワカナ 高野 若菜
歯科口腔外科		フクマ ダイキ 福間 大喜 ユノ 亮 湯野 晃	フクマ ダイキ 福間 大喜 ユノ 亮 湯野 晃	手術日	フクマ ダイキ 福間 大喜 ユノ 亮 湯野 晃	フクマ ダイキ 福間 大喜 ユノ 亮 湯野 晃
婦人科			ヨシザト ナオコ 吉里 直子 (非常勤)	タジマ トモタカ 田島 朝宇 (非常勤)	シバタ サブロー 柴田 三郎 (非常勤)	ヨシザト ナオコ 吉里 直子 (非常勤)
放射線科		ナミモト トモヒロ 浪本 智弘 ハセガワ ヒデミ 長谷川 秀水	ナミモト トモヒロ 浪本 智弘 ハセガワ ヒデミ 長谷川 秀水	ナミモト トモヒロ 浪本 智弘 ハセガワ ヒデミ 長谷川 秀水	ナミモト トモヒロ 浪本 智弘 ハセガワ ヒデミ 長谷川 秀水	ナミモト トモヒロ 浪本 智弘 ハセガワ ヒデミ 長谷川 秀水

